



和歌山城跡（三の丸）発掘調査の様子（北から）

公開シンポジウム（オンライン配信）

和歌山城築城前

～城の下に眠る遺跡の姿～

2022 年 **3/13** 日 より オンライン配信

配信サイト

（公財）和歌山県文化財センター公式 Youtube チャンネル

（URL： [https://www.youtube.com/channel/](https://www.youtube.com/channel/UCpqCfFPCtUsxCluUtvkDEpw)

[UCpqCfFPCtUsxCluUtvkDEpw](https://www.youtube.com/channel/UCpqCfFPCtUsxCluUtvkDEpw)）



主催：公益財団法人和歌山県文化財センター（お問い合わせ TEL：073-472-3710 FAX：073-474-2270）

後援：和歌山県教育委員会・和歌山市・公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団

和歌山城築城前

～城の下に眠る遺跡の姿～

天正 13（1585）年、羽柴秀吉は紀州征伐後、紀の川河口部の「岡山」（現在の虎伏山）に弟、秀長に命じ城を築かせました。この和歌山城は、城代である桑山氏、関ヶ原の戦い後は浅野氏を経て、大坂の陣後には徳川頼宣が城主となり、江戸時代を通して紀州徳川家の居城として城下町とともに発展してきました。



和歌山城跡（三の丸）中世の土壌墓（南西から）



鷲ノ森遺跡 古墳時代の井戸（北西から）
（和歌山市提供）

一方で、近年の発掘調査によって、近世の和歌山城とその城下町が形成される以前の和歌山城跡周辺の姿が明らかとなりつつあります。今回のシンポジウムでは、和歌山城跡北・東部（三の丸）の発掘調査成果を中心に、和歌山城とその城下町となる以前の遺跡の姿を考えます。

プログラム

基調講演「紀直と紀国造」

栄原永遠男氏 大阪市立大学名誉教授

基調報告「和歌山城周辺の古地形変遷と土地利用」

大木 要氏 和歌山市文化振興課

基調報告「和歌山城跡北部における古墳時代から中世の様相 ～和歌山城跡第34次発掘調査から～」

福佐 美智子氏（公財）大阪府文化財センター

基調報告「和歌山城跡東部における古墳時代から中世の様相」

丹野 拓氏 和歌山県立紀伊風土記の丘

討 論「和歌山城以前の姿～土地利用を中心として～」

発表者

司会・コーディネーター 富加見泰彦氏 日本考古学協会員

※配信内容は変更になる場合があります。

シンポジウム資料集 配布について

以下の方法でお申し込みいただいた方に資料集の冊子を無料で郵送いたします（おひとり様1部、先着100名）。なお、資料集(PDF)は（公財）和歌山県文化財センター HP にて3月13日より公開予定です。

【受付期間】

2月21日(月)～3月4日(金)

【申込方法】

①電話での申し込み

TEL 073-472-3710

（平日 9：00～17：45）

②FAX でのお申し込み

FAX 073-474-2270

③メールでの申し込み

bunkazai_event@wabunse.or.jp

資料集ご希望者の氏名、住所、電話番号をご記入の上、お申込みください。